

豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報の掲示について

近年、豪雨や台風等の大規模な自然災害が頻発し、農業に甚大な被害が発生しています。農業者の皆さまが、豪雨や台風といった風水害に備えるためのポイントを、分野別にイラストや簡潔な文章でまとめお知らせします。

気象情報の確認や、清掃・点検・補修等を実践し、豪雨や台風襲来に備え減災につなげましょう。

特に、

人命第一の観点から、暴風雨、異常出水時においては、状況が収まるまで施設等の見回りは行わないようにしましょう。

暴風雨等が治まった後の見回りについても、増水した水路その他の危険な場所には近づかず、足下等、施設周辺の安全に十分に注意し、転落、滑落事故に遭わないよう慎重に行いましょう。

引用：農林水産省：豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報
https://www.maff.go.jp/j/saigai/taisaku_gaiyou/yobou_gensai.html

**（施設園芸）ハウスの点検・補修等を確実に実施し、
豪雨や台風襲来に備えましょう**



情報収集

- 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしましょう。

ハウス周辺の整備

- 周辺から飛来が予想されるものを片付けましょう。
- 燃料タンク・ガスボンベ等をしっかりと固定しましょう。
- 施設周辺の排水溝やハウスの谷樋、縦樋等のゴミを取り除きましょう。

停電対策

- タンクにかん水用水を貯水しましょう。
- 自動換気（天窓、側窓）・遮光カーテンの手動開閉の操作器具や足場を準備しましょう。
- （発電機を持っている場合）非常用発電機を養液栽培装置、環境制御装置に接続しましょう。

破損・倒壊対策（次の点に留意しましょう）

- 被覆材のたるみや破れはありませんか。
- 換気部（サイド部、谷部）、被覆材の隙間等風の吹き込み口となる箇所はありませんか。
- ハウスバンド、被覆材の留め金具に緩みはありませんか。
- 基礎部、接続部分、谷樋・柱に腐食・サビはありませんか。
- 準備していた斜材を設置するなど応急的な補強はしましたか。
- （換気扇のあるハウス）換気扇をまわして排気し、ハウス内を減圧していますか。

※ハウスの耐風速以上の強風が予想される場合は、あらかじめ被覆フィルムを除去しておく。

切断除去する場合は、事前に農業共済組合等に連絡しておかないと園芸施設共済の支払いの対象とならないため、予め相談する。

農業保険への加入

- 想定外の自然災害に備え、ハウス本体は園芸施設共済、ハウス内の農作物は収入保険に加入しましょう。（詳しくはお近くの農業共済組合等にお問合せください。）

引用：農林水産省：豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報
https://www.maff.go.jp/j/saigai/taisaku_gaiyou/yobou_gensai.html

**(園芸花卉) 露地野菜・花きの排水・倒伏対策を実施し、
豪雨や台風襲来に備えましょう**



情報収集

- 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしましょう。

ほ場や周辺の対策

- 早期に排水が進むよう、あらかじめ溝切り、畝立てなどを行いましょ。
- また、排水溝のゴミの除去や再整備を行いましょ。
- 周辺から飛来が予想されるものを片付けましょ。

強風被害の軽減対策

- 損傷や倒伏を軽減するため、茎や枝を支柱やネット、誘引線にしっかりと固定するとともに、支柱等の点検・補強を行いましょ。(果菜類、草丈の高い花き)
- 倒伏や茎折れを軽減するため、べたがけ資材の利用や土寄せを行いましょ。(葉菜類、草丈の低い花き)
- 収穫可能な果実や切り花などは早めに収穫しましょ。

被害拡大防止のための対策

- 被災後の生育回復に向けた肥培管理(葉面の早期洗浄、薬剤散布など)や補植用苗の確保などの段取りを事前に確認しましょ。
- これまで冠水したことのあるほ場や地域では、速やかな排水を行うために排水ポンプの準備も検討しましょ。
- 台風や豪雨の後は、倒伏した株を早急に立て起こし、茎や花穂の曲がり防止するとともに、折れた茎葉の除去、適切な薬剤散布等により、病害の発生抑制に努めましょ。
- 潮風害を受けた場合には、散水による除塩作業を実施しましょ。

引用：農林水産省：豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報
https://www.maff.go.jp/j/saigai/taisaku_gaiyou/yobou_gensai.html

**(果樹) 樹体や資材の点検・補修等を確実に実施し、
豪雨や台風襲来に備えましょう**



情報収集

- 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしましょう。

樹体への対策

- 倒伏の恐れのある樹体は支柱により補強しましょう。
- 着果した太い枝は支柱で支え、固定する等の補強をしましょう。
- 幼木・若木は主枝が折れないよう、支柱を添えて固定する等の補強をしましょう。

資材の点検

- 防風ネットやマルチ資材にほつれなどが無いか確認しましょう。
- 果樹棚のゆれや倒壊を防ぐため、杭等を追加設置しましょう。

園地や周辺対策

- 排水が速やかに行われるよう、園地周辺の排水路や排水溝の点検、清掃を行いましょう。
- 樹冠下の土壌流出を防ぐため、敷ワラや敷草を行いましょう。

事前の収穫

- 農薬散布から収穫までの経過日数に留意した上で、収穫可能な果実は早めに収穫しましょう。

被害拡大防止のための対策

- 豪雨や台風の後には、かんきつかいよう病、黒星病、モモせん孔細菌病等の発生・感染拡大が懸念されます。防除基準に基づき、薬剤散布等により適切に防除しましょう。
- 既に病害に罹患している枝や葉等があれば園外に処分しましょう。
- 海に近く、海水を含んだ風雨にさらされた場合には、樹体から塩分を落とすため、速やかにスプリンクラーや動力噴霧器等による散水を行いましょう。

引用：農林水産省：豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報
https://www.maff.go.jp/j/saigai/taisaku_gaiyou/yobou_gensai.html

(畜産) 飼料備蓄や非常用電源の確保等、豪雨や台風襲来に備えましょう



情報収集

- 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしましょう。

飼料・燃料・飲水などの備蓄

- 家畜を少なくとも1週間以上飼養できる在庫量を確保しましょう。
- 河川の増水や土砂崩れのリスクも考慮し、分散して保管するなどの工夫をしましょう。
- 飲水の貯留タンクの設置やくみ上げポンプなどを準備しましょう。

非常用電源の確保

- 停電時にも飼養管理、搾乳や生乳冷却を継続してできるよう、地域で連携したり、個々の経営ごとに非常用電源を準備しましょう。
- 発電機のメンテナンスや燃料の確保もしておきましょう。

施設の損傷・倒壊・浸水の予防

- 損傷や倒壊等を避けるため、事前に施設を点検し、必要に応じて補修しましょう。
- 大雨による畜産施設の浸水のリスクも考慮して、排水対策をしましょう。

飼料作物への対応

- 天候の状況により、飼料作物の管理・収穫作業等、調製法の変更など、臨機応変に対応出来るようにしましょう。
- 冠水に備え、ほ場の排水対策をしましょう。

家畜の避難

- 家畜を避難させる必要が生じた場合に備え、家畜の避難場所や避難方法を予め検討しましょう。
- 避難及び避難先から家畜を戻す際は、家畜疾病のまん延防止のため、積込み前後の車両消毒、荷台における体液等の漏出防止措置、運搬後の車両及び資材の消毒等を行いましょう。

災害が発生してしまった時の行動

- 人命第一の観点から、畜舎等の見回りは最新の気象情報、警報、注意報を確認し、暴風雨等が治まるまで行わないでください。
- 暴風雨等が治まった後の見回りも人命を最優先に行動、二次被害の防止に努めてください。

引用：農林水産省：豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報
https://www.maff.go.jp/j/saigai/taisaku_gaiyou/yobou_gensai.html

（農業機械） 浸水した農業機械はエンジンをかけない！ ショートします！



浸水した場合のエンジンの始動

- 浸水した農業機械は、JA 農機センター、農機販売整備業者等が点検する前にはエンジンをかけないでください。

漏電に注意

- バッテリー、電気配線やモーター部が水に浸かった場合は、ショートしやすくなっており、漏電の危険もあります。最悪の場合には火災につながることもあります。

JA 等農機センター等に相談

- 水が引いたらなるべく早く乾燥させ、まずはお近くの JA 農機センター、農機販売整備業者等に相談してください。
- 物理的な変形があった場合はもちろんですが、泥水に浸かっただけであっても修理・整備による以前の状態への修復が難しいこともあります。

引用：農林水産省：豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報
https://www.maff.go.jp/j/saigai/taisaku_gaiyou/yobou_gensai.html